

公益財団法人 中辻創智社
第 10 期（2024 年度）事業報告書
（2024 年 4 月 1 日—2025 年 3 月 31 日）

I. 概要

当法人は 2015 年の設立以来、学術と科学技術の健全な発展を願い、社会と次世代を担う若者を支援することを目的に、研究奨励部門として「研究費助成公募」「会議開催費助成公募」、人材育成部門として「理系出身者への法科大学院奨学金」「困難な状況にある子ども達への学習支援」の 4 事業を実施してきた。これらの事業では、自然環境保全を担う基礎生物学のうち研究継続が困難な状況にある研究課題に対する研究費助成、文系及び理系学術分野の勉強会やシンポジウム等に対する会議開催費の助成、理系分野の学問的背景を有する法科大学院生への給付型奨学金、子ども食堂や子どもの居場所に学習支援機能を付与するための助成を展開している。上記事業の財源は、基本財産及び特定資産の運用益を用いている。

2024 年度は、

- (1) 公益財団法人移行後の法人運営体制の強化と安定を図る。
 - (2) 現在実施している助成公募事業を継続し発展させる。
- の 2 つの基本方針に基づき法人を運営し、助成事業を実施した。

当法人は主たる事務所を京都市中京区麩屋町通夷川上る笹屋町 459 番地に定め、定款に従い以下の役員等で構成される。

役職	氏名	常勤・非常勤の別	職務・現職
代表理事	中辻憲夫	非常勤	京都大学名誉教授（理学博士）
業務執行理事	細川美穂子	常勤	職務統括（事務局長兼務）（医学博士）・研究奨励選考委員会委員長
理事	長谷川博	非常勤	東邦大学名誉教授
理事	藤本一郎	非常勤	人材育成選考委員会委員長・弁護士法人創知法律事務所代表弁護士

監事	新居誠一郎	非常勤	新居合同税理士事務所所長・税理士
評議員	饗庭一博	非常勤	元京都大学准教授（理学博士）
評議員	門田真	非常勤	信州大学バイオメディカル研究所・医学部再生医科学教室講師（医師・医学博士）
評議員	加納圭	非常勤	滋賀大学教育学部教授（生命科学博士）
評議員	迫田さやか	非常勤	同志社大学経済学部准教授（経済学博士）
評議員	中馬新一郎	非常勤	京都大学医生物学研究所准教授（獣医師・理学博士）
評議員	中辻孝子	非常勤	元東海大学教授（医学博士）
評議員	仲屋麻希子	非常勤	フリーライター、同志社女子大学非常勤講師
評議員	西川輝昭	非常勤	名古屋大学名誉教授（理学博士）

職員は常勤1名（兼務職員）、非常勤1名（週1日）の計2名で業務にあたった。

II. 公益目的事業の実施状況（公益目的事業1）

(1) 研究奨励部門

A. 研究費助成公募（定款第4条に定める事業(1)）

自然環境保全を担う生物学領域の中心分野について、研究継続が困難な状況にある研究課題を対象とした研究費助成公募を下記の通り実施した。

【公募期間】

2024年4月8日～6月10日

【公募方法】

当財団ウェブページ掲載、ポータルサイト登録（JSTサイエンスポータル、助成財団センター助成情報ナビ）、全国の国立大学及び主要博物館並びに主要対象分野の学会（日本動物学会、日本植物学会、日本生態学会、日本分類学会連合）への周知依頼により公募を行った。

【募集件数】

100万円助成課題の募集件数13件（予算額1300万円）

50万円助成課題は募集せず

*2024年5月25日に補正予算を作成し、予算額を1650万円に修正した。

【申請件数】

37件

【選考方法】

研究費助成公募選考要項に従い研究奨励選考委員による採点の上、合議制の選考会を2024年7月16日に開催し採択課題を決定した。

【選考結果】

17件を採択

【助成総額】

17,000,000円

研究費助成公募の採択課題は下記の通りである。

100万円助成課題（17件）

氏名	所属	職位	研究課題名
吉田誠	東京大学大気海洋研究所 海洋生命科学部門	特任研究員	特定外来生物チャネルキャットフィッシュの冷水域・汽水域への分布拡大を可能とする行動特性の解明
大平敦子	多摩六都科学館	学芸員	発光トビムシの探索と地域固有種の保護にむけて
Tavares Vasques Diego	東京大学理学系研究科附属植物園	特任助教	日本最古シダ植物標本から絶滅危惧種の域外保全研究
久郷和人	公益財団法人かずさDNA研究所・ゲノム事業推進部	研究員	環境DNA解析を利用した産卵期以外のトウキョウサンショウウオの生息調査方法の検討
小島渉	山口大学 大学院創成科学研究科	准教授	野焼きが引き起こすハラヒシバツタの体色の急速な進化
葦島悠介	北九州市立自然史・歴史博物館 自然史課	学芸員	DNA情報に基づく水生ガムシ類の普通種と広域分布種の再検証
小田谷嘉弥	千葉県立中央博物館 事業部教育普及課	研究員	東アジアにおける狩猟鳥ヤマシギの渡り経路の解明
鶴倩倩	神戸大学 人間発達環境学研究所	学術研究員	環境DNA解析と生態モデルによる気候変動下における魚類の時空間分布予測
山田量崇	兵庫県立大学・自然・環境科学研究所	准教授	河岸水際の微環境に光を当てる：間隙性昆虫類の種多様性の評価と遺伝的重要性の検証
伊藤舜	静岡大学学術院理学領域	助教	乾燥への適応を介したサワガニの海洋島進出と島内分散機構の解明
油谷直孝	東京大学 大気海洋研究所 生物海洋学グループ	特任研究員	無糸球体の腎臓を持つヨウジウオ科魚類における淡水進出：進化の袋小路から脱却した適応メカニズムと生態学的意義
今井薫	大阪大学大学院理学研究科生物科学専攻	准教授	胚の左右軸決定におけるMMP21の役割
谷亀高広	昭和大学 富士山麓自然・生物研究所	講師	園芸植物「富貴蘭」、および絶滅危惧植物フウラン（ラン科）の遺伝的多様性の解明
山中淳之	鹿児島大学・歯学総合研究科・歯科機能形態学分野	准教授	現生哺乳類の多様性を生みだした歯種の分化を制御する分子メカニズムの解明
中村朋文	熊本大学病院 血液・膠原病・感染症内科 / 中央検査部	診療助手	農薬や長期投薬による薬剤耐性Aspergillus fumigatusの解析から探る真菌の進化とその生態
山田温子	大阪大学 大学院理学研究科	助教	有櫛動物コマイクラゲムシのゲノム解析～進化発生学の新たなモデル種を目指して～
Urbanczyk Henryk	宮崎大学 農学部	准教授	The nature and origin of Vibrionaceae species. (ヒブリオ科細菌種の性質と起源について)

研究費助成公募状況の推移は次の通りである。

	2018年度 第1期	2019年度 第2期	2020年度 第3期	2021年度 第4期	2022年度 第5期	2023年度 第6期	2024年度 第7期
申請総数	40	30	30	36	32	41	37
採択総数	10	11	11	11	13	14	17
採択率	25.00%	36.70%	36.70%	30.56%	40.62%	34.15%	45.95%
助成総額	700万円	800万円	950万円	885万円	1090.2万円	1362.9万円	1700万円



2024年度はこれまでの採択課題から7件の論文発表の報告があった。

氏名	所属	採択年度	発表論文
宇都宮 聡	九州大学大学院理学研究院化学部門	2022年度	Direct observation of Mn distribution/speciation within and surrounding a basidiomycete fungus in the production of Mn-oxides important in toxic element containment. <i>Chemosphere</i> , 313 (2023) 137526.
藪田 歩	筑波大学生命環境系	2022年度	Cell population behavior of the unicellular red alga <i>Galdieria sulphuraria</i> during precious metal biosorption. <i>2022 J Hazard Mater.</i> 432, 128576
藪田 歩	筑波大学生命環境系	2022年度	Reversible adsorption of iridium in lyophilized cells of the unicellular red alga <i>Galdieria sulphuraria</i> . <i>RSC Adv.</i> 13, 2023, 14217-14223
藪田 歩	筑波大学生命環境系	2022年度	Low-concentration palladium recovery from diluted aqua regia-based wastewater using lyophilized algal cells. <i>2023 Resour Conserv Recycl Adv.</i> 17, 2023, 20014
松尾 亮太	福岡女子大学国際文理学部	2023年度	Visual afferents from an eye in the terrestrial slug <i>Limax valentianus</i> . <i>J Comp Neurol</i> 532, e25600 (2024).
松尾 亮太	福岡女子大学国際文理学部	2023年度	Expression of proteins supporting visual functions in heterobranch gastropods. <i>J Comp Physiol A</i> (in press) (2024).
山口 忠則	九州大学大学院総合理工学府海洋モデリング研究室	2021年度	Quantitative relationship of Sr:Ca of statoliths of the Japanese flying squid (<i>Todarodes pacificus</i>) with empirical water temperatures. <i>J Mar Biol Assoc U K.</i> Volume 105, 2025, e14, 1-11

B. 会議開催費助成公募事業（定款第4条に定める事業(3)）

文系・理系を問わず、学術・科学技術の振興を目的とした会議開催費助成公募を下記の通り実施した。

【公募期間】

開催まで1年未満の会議について申請を通年で随時受付

【公募方法】

当財団ウェブページ掲載、ポータルサイト登録（JSTサイエンスポータル及び助成財団センター助成情報ナビ）により公募を行った。

【募集件数】

年間20件程度（予算額700万円）

*2024年5月25日に補正予算を作成し、予算額を900万円に修正した。

【申請件数】

131件

【選考方法】

申請受理日に応じて年3回の審査を行った。会議開催費助成公募選考要項に従い研究奨励選考委員による採点の上、選考委員による合議制の審査会（いずれもメール会議）において採択課題を決定した。

【採択件数】

44件

【助成総額】

996万円（うち638,959円は、過去の会議開催費助成採択団体から返金された助成金残金を充当）

採択会議は下記の通りである。

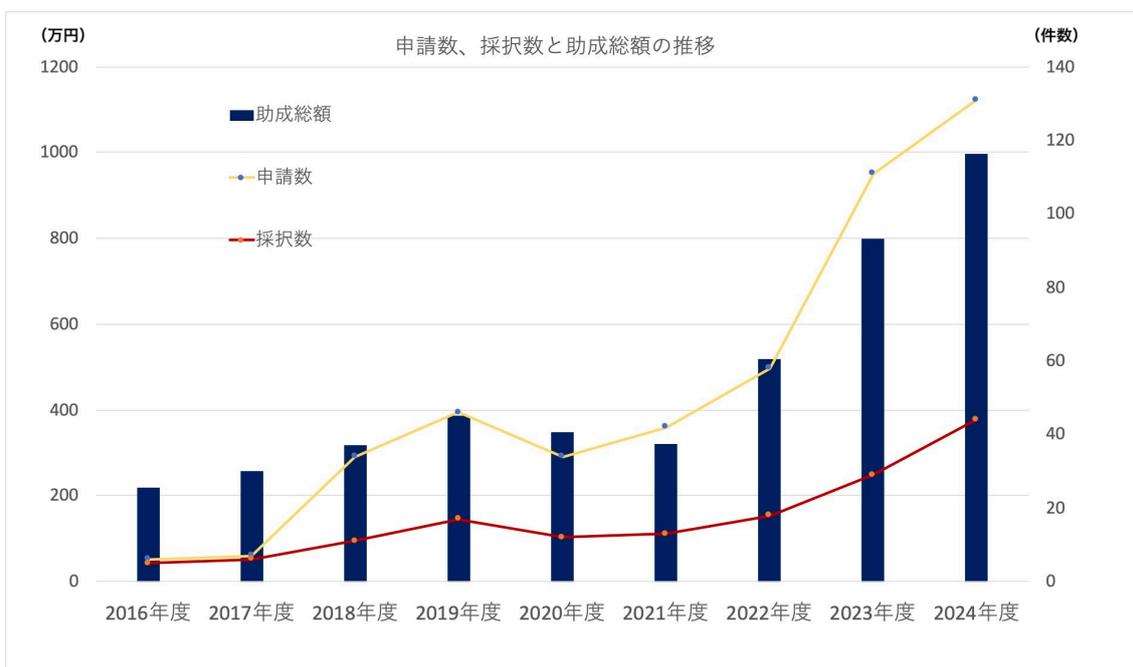
採択会議名	主催団体	採択金額
第 19 回高校環境化学賞ポスターセッション	日本環境化学会高校環境化学賞部会	25 万円
生命情報科学若手の会第 16 回年会	生命情報科学若手の会	25 万円
日本物理教育学会年会・第 40 回物理教育研究大会	日本物理教育学会	25 万円
第 9 回ユニーク会	ユニークな少数派実験動物を扱う若手が最先端アプローチを勉強する会（ユニーク会）	15 万円
第 15 回蠕虫研究会	日本寄生虫学会	25 万円
第 13 回 ITAM Workshop	ITAM Worlshop 運営事務局	15 万円
生物リズム若手研究者の集い 2024	時間生物学会若手の会	25 万円
第 26 回日本内分泌攪乱物質学会研究発表会	日本内分泌攪乱物質学会	25 万円
学際的研究のための分子イメージング技術セミナー	PSP/TSP 研究会	25 万円
第 67 回東海学校保健学会学術大会	東海学校保健学会	22 万円
第 64 回生命科学夏の学校	生化学若い研究者の会	20 万円
土壌学 若手巡検～植生が火山性未熟土の発達に及ぼす影響～	土壌学若手の会	15 万円
第 16 回日本ゲノム微生物学会若手の会	日本ゲノム微生物学会若手の会	25 万円
レーザー夏の学校	レーザー夏の学校運営委員会	25 万円
第 4 回若手放射線影響研究会	一般社団法人日本放射線影響学会若手部会	25 万円
第 2 回保全生態学夏の学校	保全生態学若手の会	25 万円
流体若手夏の学校 2024	流体若手夏の学校実行委員会	25 万円

第4回理論生物学夏の学校	第4回理論生物学夏の学校実行委員会	25万円
AI 技芸研究会（クラスター）	AI 技芸研究会	25万円
日本健康相談活動学会第21回学術集会	一般社団法人 日本健康相談活動学会	20万円
第18回日本作業療法研究学会学術大会若手シンポジウム「これからの作業療法における基礎研究について（仮）」	日本作業療法研究学会	15万円
第63回分子科学若手の会夏の学校	分子科学若手の会	20万円
1st Asian Xenopus Conference	日本ツメガエル研究会・韓国ツメガエル研究会	30万円
進化発生学若手研究会（EvoDevo 若手研究会）	EvoDevo の集い	30万円
国際ゼニゴケワークショップ2024	国際ゼニゴケワークショップ2024 実行委員会	27万円
第1回 東海 進化生態発生 研究会合宿	進化生態発生研究会 実行委員会	20万円
2024年度べん毛研究交流会	2024年度べん毛研究交流会 運営委員会	25万円
理論生物学スプリングスクール（Spring School for Theoretical Biology）	SSTB 実行委員会	25万円
The 11th General Conference of the Asian Consortium on Computational Materials Science (ACCMS-11)	ACCMS11 実行委員会	25万円
第71回日本生化学会近畿支部例会	日本生化学会・近畿支部	15万円
人間とはなにかを分野横断的に考える若手の会シリーズ（クラスター）	人間とはなにかを分野横断的に考える若手の会	20万円

中国農村ジェンダー研究 次世代育成フォーラム	中国女性史研究会	20 万円
第 7 回次世代生物研究会	次世代生物研究会	15 万円
フリーラジカルスクール 2025	日本酸化ストレス学会 若手の会	25 万円
Japan Eco-Evo English Seminar (日本生態・進化英語セミナー)	Japan Eco-Evo English Seminar working group (日本 生態・進化英語セミナ ー ワーキンググルー プ)	25 万円
理論進化生態フォーラム	理論進化生態フォーラ ム実行委員会	25 万円
第 9 回 幹細胞・細胞分化に関する合同リトリート	幹細胞・細胞分化に関 する研究会・実行委員 会	25 万円
医学の科学哲学研究会 第一回若手ワークショップ	医学の科学哲学研究会	25 万円
第 70 回物性若手夏の学校	物性若手夏の学校準備 局	25 万円
海外での研究経験はどう役立つの？ 実際に留学中の若手研究者に聞いてみよう	進化学若手の会	7 万円
技科大×高専カンファレンス in 豊橋	学生有志グループ「判別式:D」	25 万円
「神経回路構築のための発達戦略を探る」～自発性活動から生まれる脳機能の発達における系統的理解～	生理学研究所 兵庫医 科大学	20 万円
第三回 TMT-ACCESS 研究会	TMT-ACCESS 世話人	25 万円
生物工学若手研究者の集い 夏のセミナー2025	日本生物工学会 生物 工学若手研究者の集い (若手会)	25 万円

会議開催費助成公募状況の推移は次の通りである。

	2020年度 第6期	2021年度 第7期	2022年度 第8期	2023年度 第9期	2024年度 第10期
申請総数	34件	42件	58件	111件	131件
採択総数	12件	13件	18件	29件	44件
採択率	35.29%	30.95%	31.03%	26.13%	33.59%
助成総額	346.9万円	320万円	519.8万円	798万円	996万円



申請件数の増加が続いていること、減額採択しても残金が発生する団体が複数あることから、助成額の上限設定の最適化が課題となった。

(2) 人材育成部門

A. 理系出身者への法科大学院奨学金（定款第4条に定める事業(2)）

多様な学問的背景を持つ法曹の層の厚みは成熟した社会を支える上で重要であり、理系分野の専門知識・技術を持つ法科大学院生へ月額3万円を給付する奨学金事業を下記の通り実施した。

【募集期間】

2024年4月1日～5月12日

【募集方法】

当財団ウェブページ掲載、ポータルサイト登録（日本学生支援機構、奨学金.net、ガクシー、助成財団センター助成情報ナビ）、全国の法科大学院への周知依頼により募集を行った。

【募集人数】

法科大学院在籍者4~5名、次年度進学予定者若干名（予算額500万円）

*2024年5月25日に補正予算を作成し、予算額を550万円に修正した。

【応募人数】

法科大学院在籍者15名

進学予定者1名

合計16名

【選考方法】

理系出身者への法科大学院奨学金選考要項に従い人材育成選考委員による書類選考（一次選考）を行い、一次選考を通過した応募者14名について、2024年6月9日に面接を実施し、合議による二次選考で採用者を決定した。

【選考結果】

法科大学院在籍者10名採用

進学予定者1名採用

【助成総額】

582万円

採用者は下記の通りである。

所属・学年	理系的背景
慶應義塾大学法科大学院既修2年生	数学・医学部医学科出身、医師、公衆衛生学修士
神戸大学法科大学院既修1年生	電気電子工学専攻出身
一橋大学法科大学院2年生	情報工学専攻出身、修士
東京大学法科大学院1年生	材料科学専攻出身
京都大学法科大学院1年生	地球工学専攻出身
東京大学法科大学院1年生	化学・衛星通信専攻出身、修士
名古屋大学法科大学院1年生	システムデザイン・マネジメント専攻出身、修士
慶應義塾大学法科大学院1年生	歯学部歯学科出身、歯科医師
慶應義塾大学法科大学院1年生	応用理工学専攻出身
千葉大学法科大学院1年生	物理学専攻出身、修士
進学予定者1名	生物学専攻修士在学中

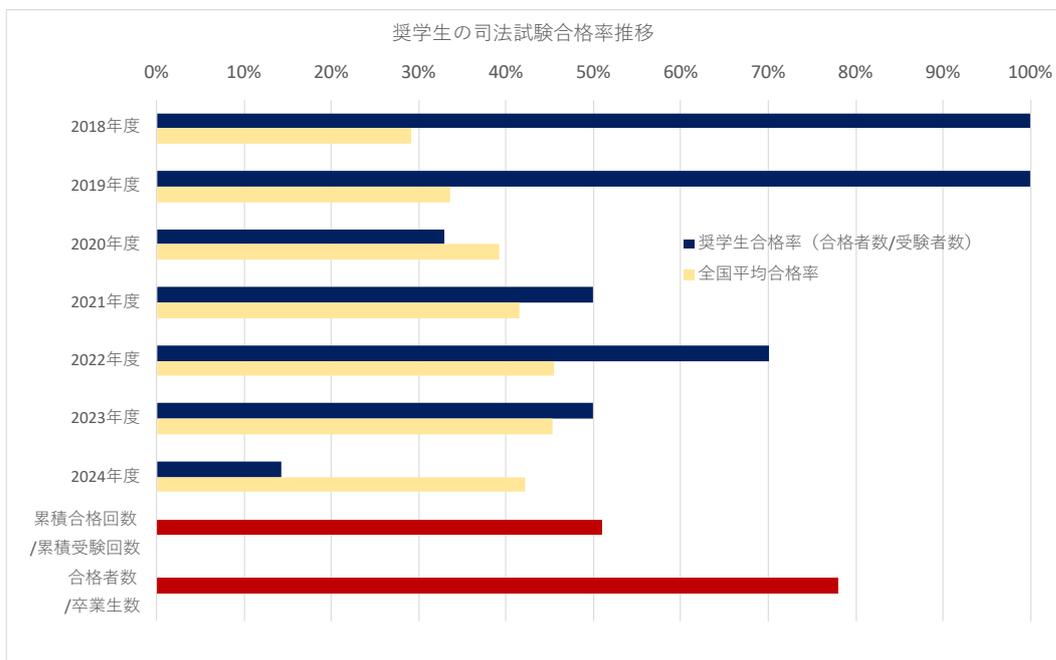
理系出身者への法科大学院奨学金応募状況の推移は次の通りである。

	2017年度 第1期	2018年度第 2期	2019年度 第3期	2020年度 第4期	2021年度 第5期	2022年度 第6期	2023年度 第7期	2024年度 第8期
申請総数	10名	3名	15名	7名	8名	13名	8名	16名
採用総数	5名	2名	8名	3名	5名	8名	3名	11名
採用率	50.0%	66.7%	53.3%	42.8%	62.5%	61.5%	37.5%	68.8%
助成総額	135万円	168万円	291万円	351万円	435万円	450万円	441万円	582万円

【2024年度の司法試験合格状況】1名合格

大阪市立大学法科大学院卒業生（教育学・数学専攻出身、修士）

本奨学金の奨学生・卒業生の司法試験合格の推移は次の通りである。



【ウェブ相談会】

理系出身者を含む法学純粋未修者の学修支援を目的としたウェブ相談会を、実務家法曹として活躍する2名の理系出身弁護士を講師として招き、2024年8月2日に実施した。奨学生・卒業生11名を含む19名の参加があり好評を博した。

【その他報告事項】

- ・ 2024年度に原級留置となった奨学生2名のうち1名は進級した。1名は退学となった。
- ・ 2025年度は3名の奨学生が原級留置となった。
- ・ 進学予定者1名が東京大学法科大学院へ進学した。

B. 困難な状況にある子ども達への学習支援（定款第4条に定める事業(3)）

困難な状況にある子ども達が集う子ども食堂・子どもの居場所に学習支援機能を付与することで、将来の社会及び学術・科学技術の担い手となる人材を育み、社会全体での教育水準の底上げと教育格差の解消に努めることを目的として助成公募を下記の通り実施した。

【公募期間】

2024年10月1日～12月4日

【対象地域】

京都府・大阪府・滋賀県・奈良県・和歌山県

【公募方法】

当財団ウェブページ掲載、対象地域の行政担当部署・社会福祉協議会等への周知依頼、助成財団センター助成情報ナビへの登録により公募を行った。

【募集件数】

8～10件程度（予算額400万円）

*2024年5月25日に補正予算を作成し、予算額を500万円に修正した。

【申請件数】

28件

【選考方法】

困難な状況にある子ども達への学習支援選考要項に従い人材育成選考委員による採点の上、合議制の審査会を2025年1月10日に開催し採択団体を決定した。

【選考結果】

12件採択

【助成総額】

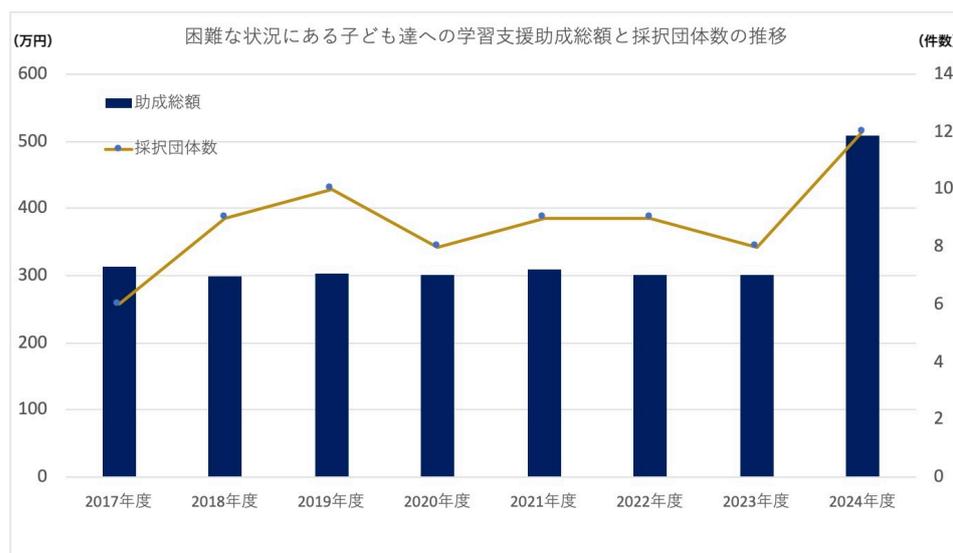
508万円

採択団体は下記の通りである。

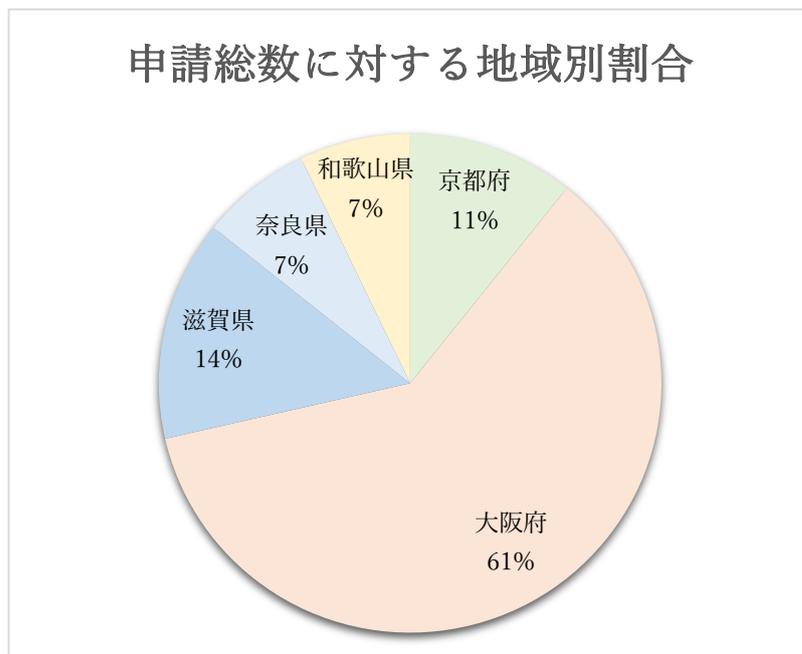
団体名	団体種別	所在地	助成金額
蒼組	任意団体	大阪市鶴見区	50万円
木の実キッズダイナー高井田	任意団体	大阪府四條畷市	50万円
Kitchen夢小屋	任意団体	和歌山県和歌山市	50万円
みんなでつくる学校とれぶりんか	任意団体	大阪府寝屋川市	50万円
西淀川インターナショナルコミュニティ	任意団体	大阪市淀川区	50万円
ちびっと食堂@くらし	任意団体	大阪市阿倍野区	50万円
こども食堂わかやま	NPO法人	和歌山県和歌山市	50万円
Minamiこども教室	任意団体	大阪市生野区	35万円
ぱれっとしが	任意団体	滋賀県蒲生郡	35万円
ヨリドコピンボン（ピンボン食堂）	任意団体	大阪市東住吉区	25万円
あっちゃんこども食堂	NPO法人	大阪市天王寺区	35万円
愛荘町不登校等の児童生徒さんの居場所づくりプロジェクト「ぱらでいろ」	任意団体	滋賀県愛知郡	28万円

困難な状況にある子ども達への学習支援応募状況の推移は次の通りである。
2023年度に申請数の減少が見られたが、2024年度は例年並みに回復した。

	2017年度 第1期	2018年度 第2期	2019年度 第3期	2020年度 第4期	2021年度 第5期	2022年度 第6期	2023年度 第7期	2024年度 第8期
申請総数	22	27	16	24	26	29	15	28
採択総数	6	9	10	8	9	9	8	12
採択率	27.27%	33.33%	62.50%	33.33%	34.61%	31.03%	53.33%	42.86%
助成総額	312.3万円	299万7000円	302万2500円	300万円	310万円	300万円	300万円	508万円



2024年度の申請総数に占める大阪府からの申請割合は大きく、申請内容も切羽詰まったものが多い。大阪府の子ども食堂・子どもの居場所については、現在の助成率維持が重要と考える。



【その他報告事項】

- ・ 第7期の助成総額 300 万円のうち、265 万 1980 円が学習支援の人件費として使用された（88.4%）。
- ・ 第7期は、採択団体 8 件のうち 2 件が、これまでに学習支援を行ったことがなく、新たに学習支援を立ち上げたいと計画している団体であった。両団体からは初期費用があったから仕組みをつくることが出来たと報告があった。
- ・ 第7期の採択団体 8 件のうち 5 件から、人件費の支払いにより学習支援にあたる大学生が責任感を持って長期的に参加できるようになったこと、その結果、子ども達と良好な関係が築かれ学習が捗ったこと、子ども達の明るい笑顔が増えたことが報告された。
- ・ 学習支援にあたった大学院生（教育・社会福祉・社会学専攻）から、採択団体での活動と参与観察、インタビューを修士論文に纏める成果が得られた。

(3) 選考委員会

A. 研究奨励選考委員

伊村 智（日本分類学会連合、国立極地研究所副所長・教授）

遊麿 正秀（日本生態学会、龍谷大学元教授）

沼田 英治（日本動物学会、京都大学名誉教授・京都大学人と社会の未来
研究院特定教授）

浅見 崇比呂（日本動物学会、信州大学特任教授）

伊藤 元己（日本植物学会、東京大学名誉教授）

細川 美穂子*（業務執行理事、*委員長）

オブザーバー

藤本 一郎（理事、創知法律事務所代表弁護士）

B. 人材育成選考委員

堀田 克明（大阪弁護士会、色川法律事務所弁護士）

植木 和彦（大阪弁護士会、泉佐野法律事務所弁護士）

古家野 彰平（京都弁護士会、古家野法律事務所弁護士）

水町 衣里（大阪大学社会技術共創研究センター准教授）

藤本 一郎*（理事、創知法律事務所代表弁護士、*委員長）

「困難な状況にある子ども達への学習支援」選考担当

山田 礼子（同志社大学社会学部教育文化学科教授）

伊多波 良雄（同志社大学経済学部元教授）

III. 法人の運営体制の充実を図るための取組

- (1) 評議員への理事会資料共有と理事会へのオブザーバー参加について
当法人の運営及び事業実施に関する詳細な情報を評議員にも共有することで、より適切な監視・監督体制を確保し透明性の向上に努めることとした。具体的には、評議員へ理事会資料を配布し、理事会へのオブザーバー参加を依頼することを決め、2025年度から運用を開始することとなった。
- (2) 各助成公募事業の電子申請システムの開発と採択者管理の機能拡張について
各助成公募事業、特に会議開催費助成公募事業の年間申請件数が増加していることを受け、事業実施体制の合理化を図るため電子申請システムの開発を行い、2024年度に実装を完了した。加えて2024年度に、電子申請システムの機能拡張として採択者管理システムの開発を行い、報告書提出の自動リマインド等の管理機能を付加した。採択者管理システムについては、2025年度から順次導入を行う。

IV. 法人運営に関する報告

(1) 重要な契約

- ・ 2024年6月18日にAxa社債（譲渡券面額300,000米ドル）の譲渡を受けた（氏名非公開の個人から）。
- ・ 2024年6月24日に、特定非営利活動法人京都SMIから解散に伴う残余財産1,846,932円の寄付を受けた。
- ・ 2024年11月7日に現金500万円の寄付を受けた（氏名非公開の個人から）。

(2) 理事会及び評議員会

2024年度は下記の通り実施した。

会議の種類	開催日時	場所	出席者	欠席者	審議事項
定時理事会	2024年5月7日	zoom	理事 4 名 監事 1 名	無し	2023年度事業報告の承認の件 2023年度計算書類等の承認の件 理事・評議員選任の件 定時評議員会招集の件 2024年度選考委員選任の件 資金調達及び設備投資の見込み該当なし承認の件（事業計画・収支予算承認理事会での承認漏れへの対応） 選考規程改訂の件 ご寄付受け入れ承認の件 2023年度監査報告の件 その他執行状況の報告
臨時理事会	2024年5月25日	対面とzoom併用 （京都市中京区堺町 通竹屋町上る橋町92 番地502号室）	理事 4 名 監事 1 名	無し	過年度（一般財団法人時代）正味財産増減計算書内訳表の表記修正承認の件 謝金規程改訂の件 会議開催費助成公募5月採択団体の承認の件 旧事務所使用協定（文書等保管）の件
理事会	2024年6月3日	書面決議	理事 4 名 監事 1 名	無し	理系出身者への法科大学院奨学金の一次選考採用者決定の件
理事会	2024年6月9日	書面決議	理事 4 名 監事 1 名	無し	理系出身者への法科大学院奨学金の採用者決定の件
理事会	2024年7月17日	書面決議	理事 4 名 監事 1 名	無し	研究費助成公募採択課題決定の件
理事会	2024年9月28日	書面決議	理事 4 名 監事 1 名	無し	会議開催費助成公募9月選考の採択団体決定の件
理事会	2025年1月11日	書面決議	理事 4 名 監事 1 名	無し	困難な状況にある子ども達への学習支援採択団体決定の件
理事会	2025年1月28日	書面決議	理事 4 名 監事 1 名	無し	会議開催費助成公募1月選考の採択団体決定の件
定時理事会	2025年2月2日	対面 （京都市中京区堺町 通竹屋町上る橋町92 番地502号室）	理事 4 名 監事 1 名	無し	2025年度事業計画書承認の件 2025年度収支予算案承認の件 2025年度資金調達及び設備投資の見込み無し承認の件 資産運用対象の選定と承認の件 その他執行状況の報告
会議の種類	開催日時	場所	出席者	欠席者	審議事項
定時評議員会	2024年5月25日	対面とzoom併用 （京都市中京区堺町 通竹屋町上る橋町92 番地502号室）	評議員 8 名 理事 4 名 監事 1 名	無し	2023年度計算書類等の承認の件 理事・評議員の選任の件 過年度（一般財団法人時代）正味財産増減計算書内訳表の表記修正承認の件 2023年度事業報告の件 2024年度収支予算・事業計画の報告の件

(3)その他報告事項

細川業務執行理事が次のセミナー等を受講し、公益法人の制度改革に関する情報収集と対応に努めた。

- 2024年6月5日、日本公認会計士協会非営利法人委員会主催セミナー「すすむ公益法人・社会福祉法人・学校法人の制度改革」
- 2024年11月28日、公益財団法人公益法人協会セミナー

- 「令和 6 年公益法人制度改正」「令和 6 年公益法人会計基準」
3. 2025 年 1 月 31 日、内閣府主催（近畿ブロック神戸会場）
「新しい公益法人制度説明会」
 4. 2025 年 2 月 10 日、大阪財団・社団連合会主催
「公益活動増進の日」

V. 収支及び正味財産増減の状況並びに財産状態の推移

別添参照。

VI. 事業報告書の附属明細書

2024 年度事業報告書には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書については、事業報告の内容を補足する事項が存在しないことから作成していない。